



市民がつくる環境都市こまき こまき環境広報

編集：こまき環境市民会議

小牧市環境都市宣言（平成17年11月19日）

小牧市環境像「尾張野の四季の恵みが実感できるまち」

1. 市民・事業者・市あらゆる主体が協働して環境創造に取り組むまちを目指します。
1. 人と自然と産業が調和する共生のまちを目指します
1. 地球にやさしい循環のまちを目指します

住みやすい環境を次世代へ

小牧市が、環境都市宣言をして早10年！

今一度、環境に対して意識を向けてみませんか。



私たちのまち小牧市は、尾張丘陵から濃尾平野へと広がる地形と天然・人工の多様な水系から成り立ち、豊かで美しい自然に恵まれています。

この恵まれた環境に暮らす私たちは、これを維持するだけでなく、さらにより暮らしやすいものにし、次世代へ引き継いでいきましょう。



自然に恵まれた小牧山

地球温暖化を防ぎましょう

地球温暖化は、地球の大気の中のCO₂（二酸化炭素）が増加し、ちょうど温室のビニールシートと似た役割をするため、地球全体の気温が上がることを言います。その温暖化は、豪雨・干ばつ・大きな台風など気候の変動による災害を世界中で起こします。

温暖化の原因としては、地球をとりまく大気（空気）の汚れなどがあります。



こうなる前に対策を...

その大気汚染は、自動車の排気ガス、工場からの排煙が起因しています。現在、日本は環境ISOの規制により、かなり改善されてきています。

では、私たち一人ひとりで何ができるかを考えてみましょう。

循環型社会に寄与するエコルセンター

私たちが生活する上で何ができるのか。みなさんが毎日の生活の中で出るゴミの量を減らすことはできると思いませんか（Reduce）。

小牧市民により排出された生ごみ、破碎ごみは、小牧岩倉エコルセンターで処理されています。このセンターは、資源循環型社会を目指して平成27年3月に完成し、現在フル稼働中です。

生ごみは高温で処理され、破碎ごみは破碎後高温で処理され、鉄類・アルミ類として選別回収され、リサイクル（Recycle）されています。排出ガスは、ほぼ完全に浄化されて大気中にでます。このように環境にやさしいごみ処理が行われています。



エコルセンターマスコットキャラクター
「エコル」

このゴミ処理で発生する熱は、発電（センターの電源・売電や近隣施設（市営温水プール、市営第一老人福祉センター）への余熱供給に利用されているので、ごみも資源として再利用（Reuse）されています。

ゴミは、正しく分別し、循環型社会に貢献しましょう！
《エコルセンターホームページ》

<http://www.city.komaki.aichi.jp/area/komakiwakura/>

エコルセンター勉強会

私たちこまき環境市民会議のメンバーは、5月19日にエコルセンターを見学してきました。一人ひとりが、ごみの排出量を減らすことの大切さを、学ぶことができました。



エコルセンター職員から説明を受けるメンバー

こまき環境市民会議とは・・・



環境フェアで活躍中のエコリン
（小牧市環境キャラクター）

こまき環境市民会議は、小牧市が環境基本計画を策定するにあたり、市民・市民団体・事業者・行政が協働して実効性のある計画をめざし平成13年に公募市民によって作られた「こまきエコプラン研究会」から発展したものです。環境活動を推進し、環境に関する情報交換や環境フェアの開催など市民への情報提供を行っています。この趣旨に賛同いただける方はお気軽にご参加ください。

ホームページ：<http://komakikankiyoushimikaigi.jp/>